

平成 30 年度 卒業時に対する学修成果達成度調査報告書
(最終報告書)

平成 31 年 3 月 20 日

別府大学

大学企画運営会議

I R 委員会

卒業時における学修成果達成度調査報告

別府大学 IR 委員会

卒業時における学習成果達成度調査の目的

本学では平成 30 年に 3 ポリシーの見直しを実施し PDCA サイクルのシステムを確立した。この PDCA サイクルにおいて、学修成果の評価指標の一つとして学生自身による学修達成度評価を掲げており、すでに「ポートフォリオ学修支援システム」において半期毎に学生による履修科目毎の自己評価が実施・蓄積され学生指導・教育改善に活用されているところである。今回、本学の教育・研究環境のさらなる向上を目的として、この科目毎の学修達成度の自己評価を総括するための在学期間全体を通した学修成果の達成度調査を実施する。

1. 調査の実施方法

調査の実施は、原則として e-learning システム (moodle) のアンケート機能を利用して、ネットワーク上からの回答とした。個別に筆記による回答が必要であった数名は用紙に印刷してものに回答を願い、代理入力を行った。

調査対象

別府大学全学部全学科を卒業することが確定している学生 336 名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙または web どちらかの回答を求めていくことで回答率 95%以上を目標とした。

調査期間

調査期間は、2019 年 1 月 15 日～3 月 20 日を調査期間として、調査を実施した。

調査内容

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8 項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2 項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用

性のある能力)に関する質問(5項目)、その他(正課外活動の状況など)として、自由回答3問を含む9項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査の各設問については、資料1として、本報告書の文末に添付した。

2. 調査実施結果

1) 学習成果達成度調査の回収実績

各学科の卒業生数と調査回答数と回答率を下の表1にまとめた。各学科の回答状況は表1に示す通りで、大学全体での回答実績は99.2%となった。

表1. 卒業時における学習成果達成度調査回答状況

所属学科	卒業生数	回答数	未回答数	回答率
国際言語・文化学科	60	60	0	100.0%
史学・文化財学科	73	73	0	100.0%
人間関係学科	51	50	1	98.0%
食物栄養学科	75	75	0	100.0%
発酵食品学科	32	32	0	100.0%
国際経営学科	75	73	2	97.3%
計	366	363	3	99.2%

調査項目ごとに、各学科別と全体の集計結果をそれぞれの百分率により、それぞれグラフ化した。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

教養の項目（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の項目として、(1) 思考力や表現力などの基礎的素養、(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解、(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力、(4) 人間と文化の探求に必要な教養、(5) 現代社会の理解に必要な教養、(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養、(7) 情報処理の基本的なリテラシー、(8) 英語の基本的なリテラシーの修得について質問を行った。

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養の、大学全体及び学科別の主観的修得状況についての回答を図1に示した。

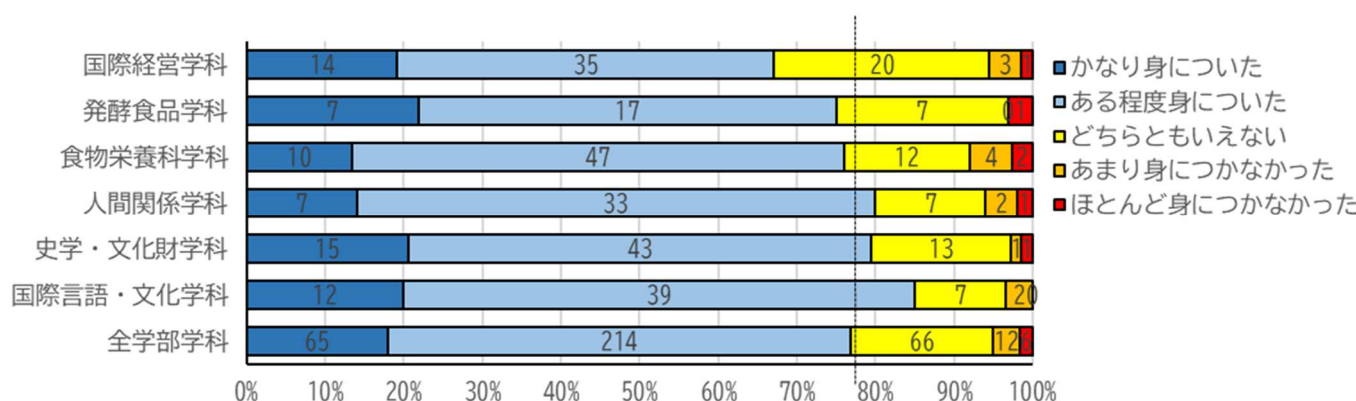


図1. (1) 思考力や表現力などの基礎的素養の修得に対する主観的評価

思考力や表現力などの基礎的素養の、主観的な修得状況について大学全体及び学科別の主観的修得について、大学全体では77%の学生が「ある程度身についた」以上となっているのに比べ、国際経営学科が67%と低い値を示している。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図2に示した。

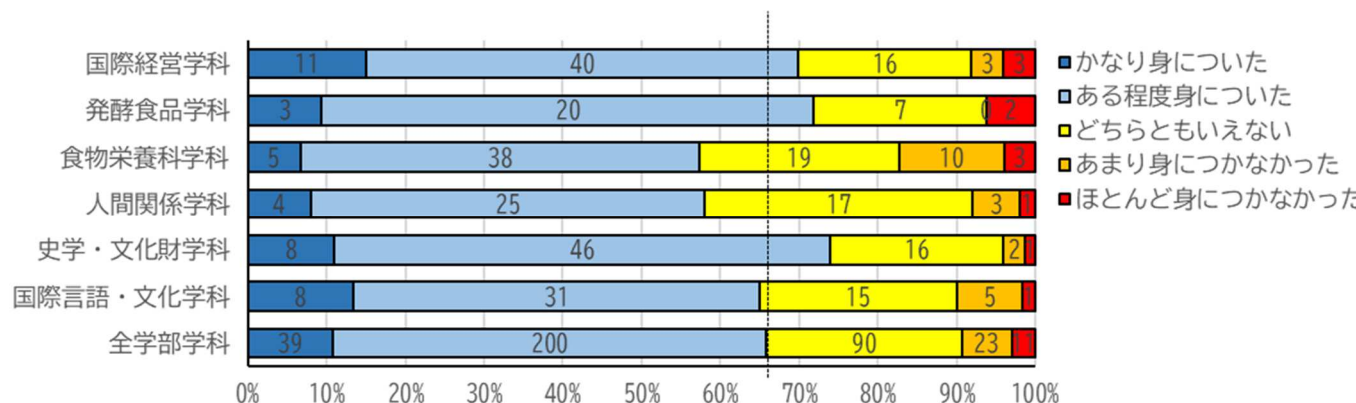


図2. 本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的評価

本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的評価について、大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 66%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科では 58%、食物栄養学科では 57%と低い値を示した。

(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 3 に示した。

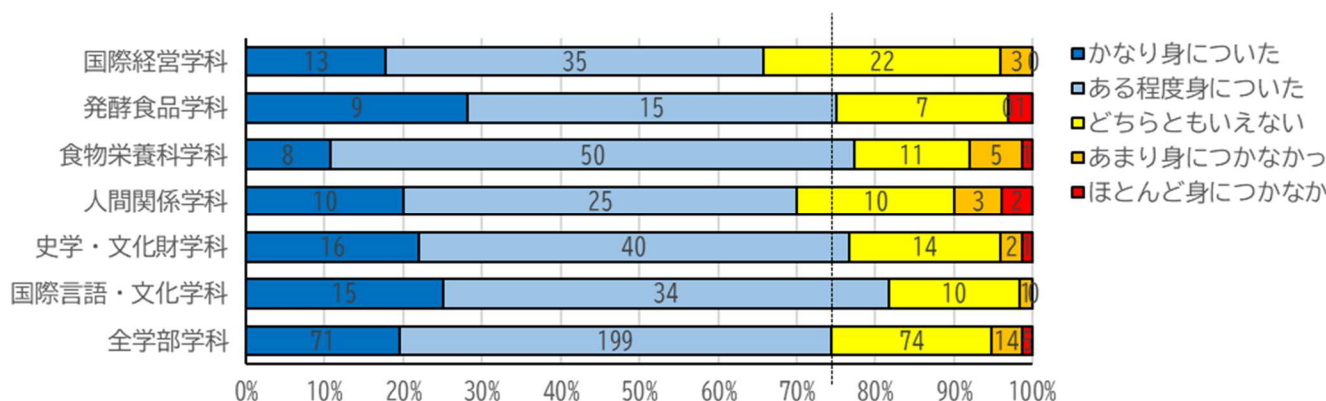


図 3. 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の修得に対する主観的評価

特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の修得に対する主観的評価について、大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 74%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科では 70%、国際経営学科では 66%と低い値を示した。

(4) 人間と文化の探求に必要な教養の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 4 に示した。

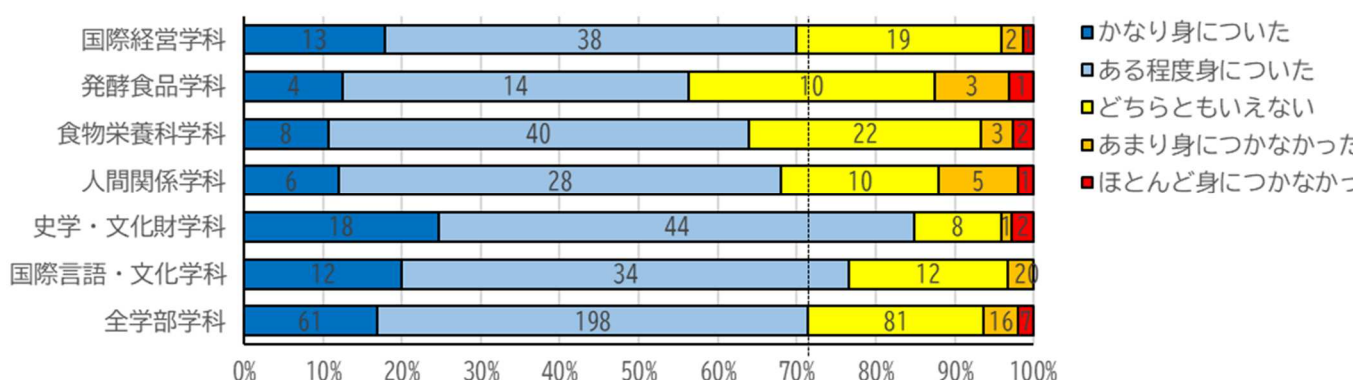


図 4. 人間と文化の探求に必要な教養の修得に対する主観的評価

人間と文化の探求に必要な教養の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では71%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科では56%、食物栄養学科では64%と低い値を示した。

(5) 現代社会の理解に必要な教養の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図5に示した。

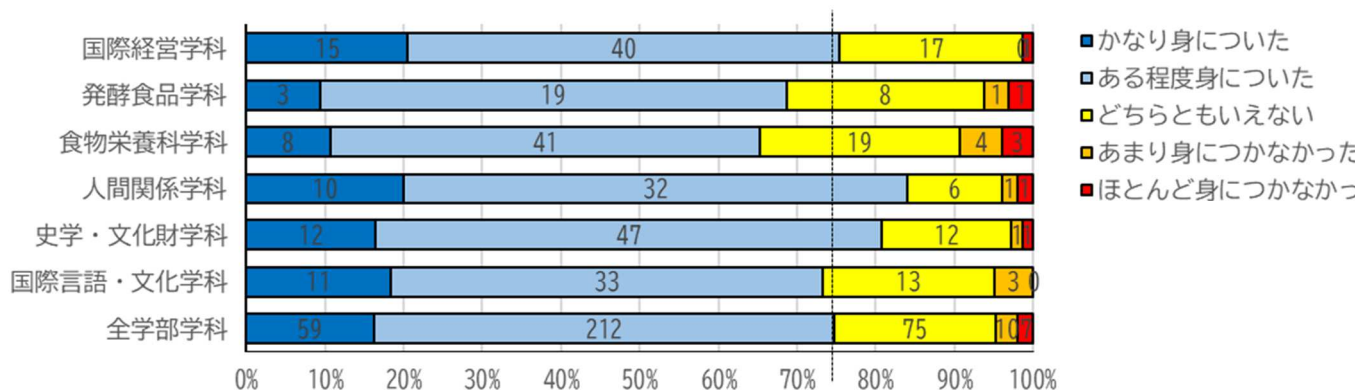


図5. 現代社会の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

現代社会の理解に必要な教養の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では75%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科では69%、食物栄養学科では65%と低い値を示した。

(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図6に示した。

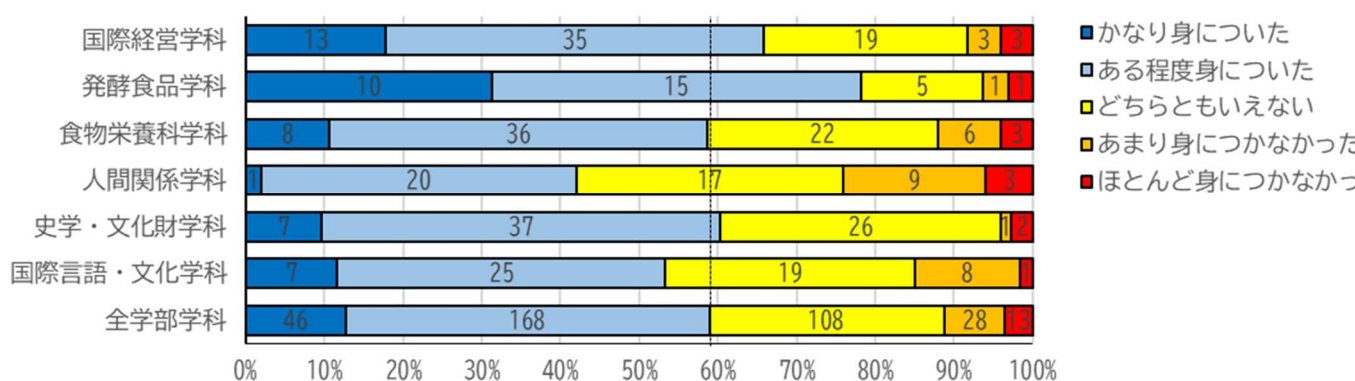


図6. 科学技術と自然環境の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

科学技術と自然環境の理解に必要な教養の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では59%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科では42%、国際言語・文化学科では53%と低い値を示した。

(7) 情報処理の基本的なリテラシーの主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 7 に示した。

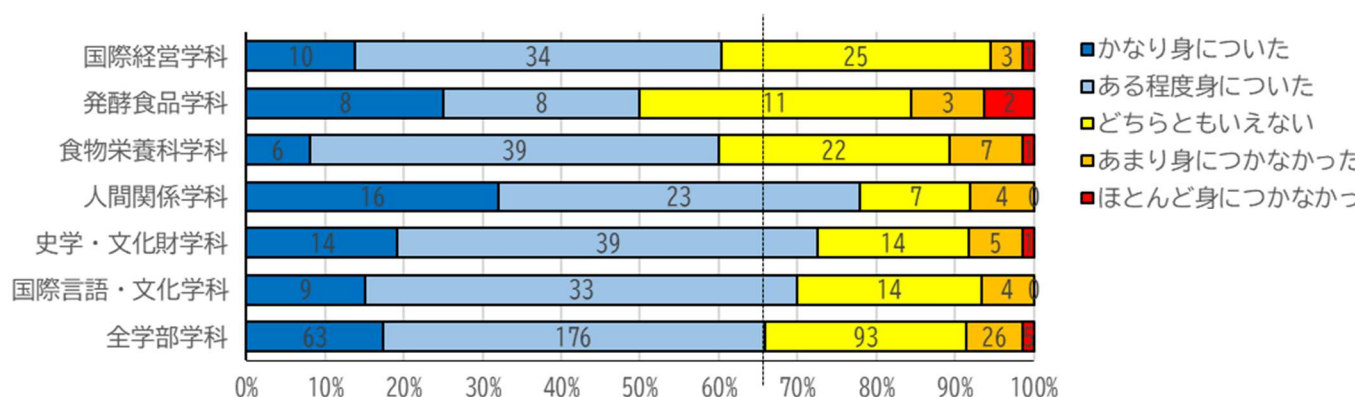


図 7. 情報処理の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

情報処理の基本的なリテラシーの大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 66%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科では 50%、食物栄養科学科と国際経営学科では 60%と低い値を示した。

(8) 英語の基本的なリテラシーの主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 8 に示した。

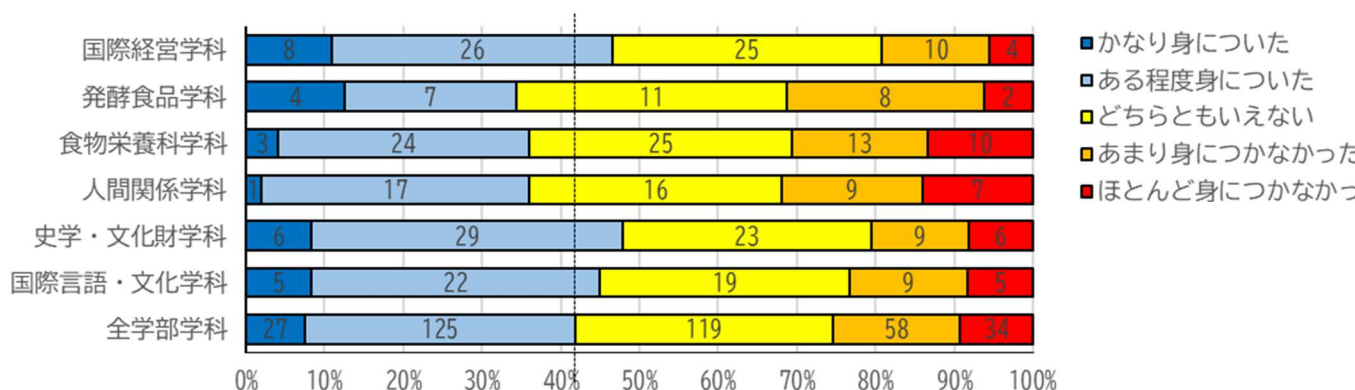


図 8. 英語の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

英語の基本的なリテラシーの大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 42%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科では 34%、食物栄養科学科と人間関係学科では 36%と低い値を示した。

2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

専門力について（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況、（2）専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解の2点について主観的修得状況を問う質問を行った。

（1）専門分野の基本的な知識や技術の主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図9に示した。

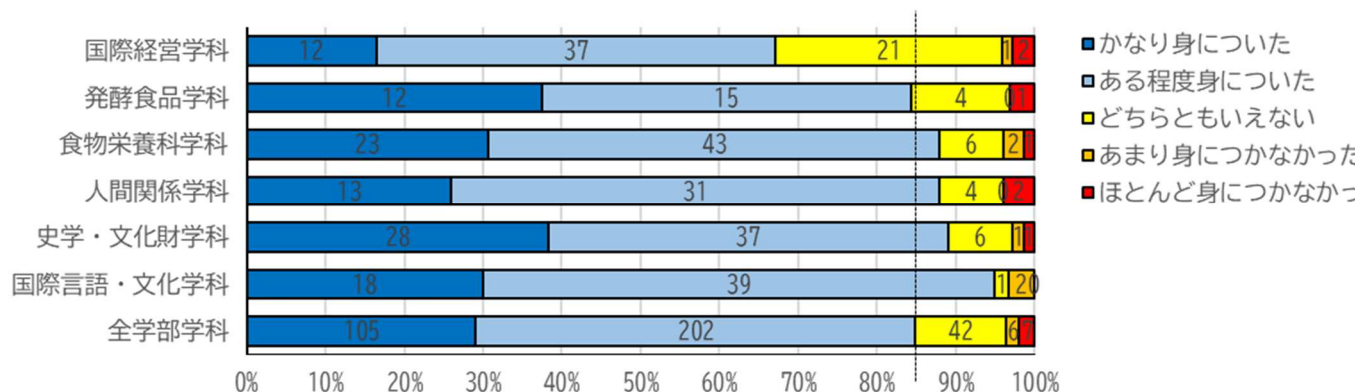


図9. 専門分野の基本的な知識や技術の修得に対する主観的評価

専門分野の基本的な知識や技術の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では85%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際経営学科では67%と低い値を示した。

（2）専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図10に示した。

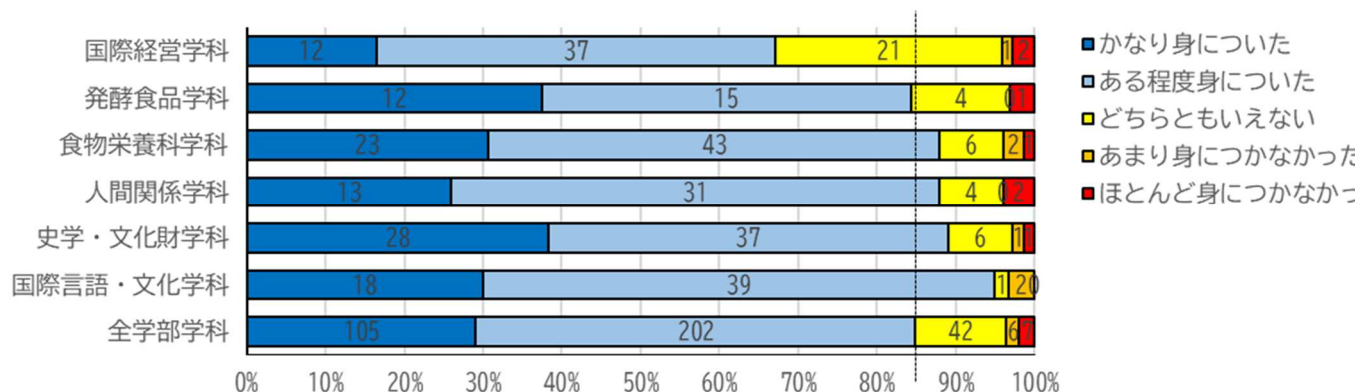


図10. 専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解の修得に対する主観的評価

専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では85%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際経営学科では67%と低い値を示した。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

汎用力（社会で活躍できる汎用性のある能力）の修得については、(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）、(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）、(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力、(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけ、豊かなコミュニケーション力、(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力について、主観的修得状況を質問した。

(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 11 に示した。

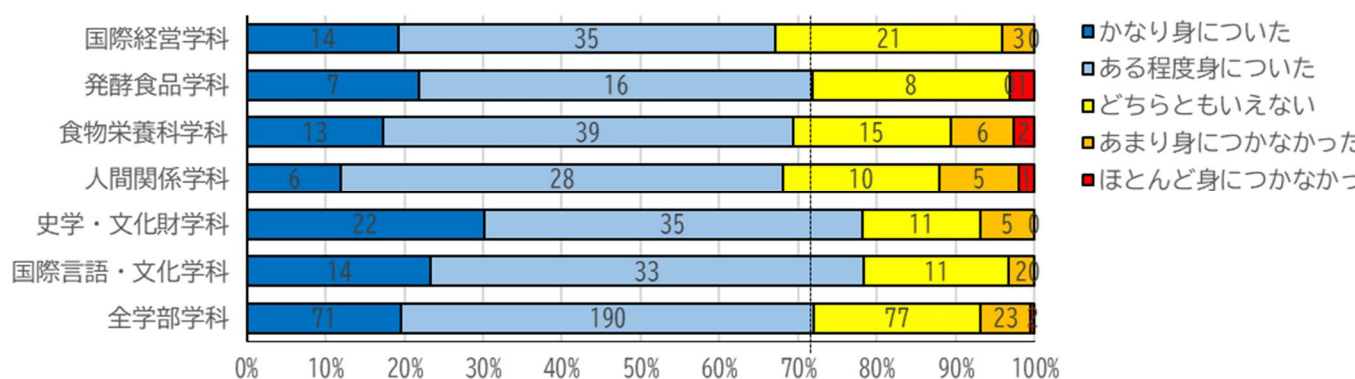


図 11. 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力の修得に対する主観的評価

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 72%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。特に目立って低い傾向の学科は認められなかった。

(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 12 に示した。

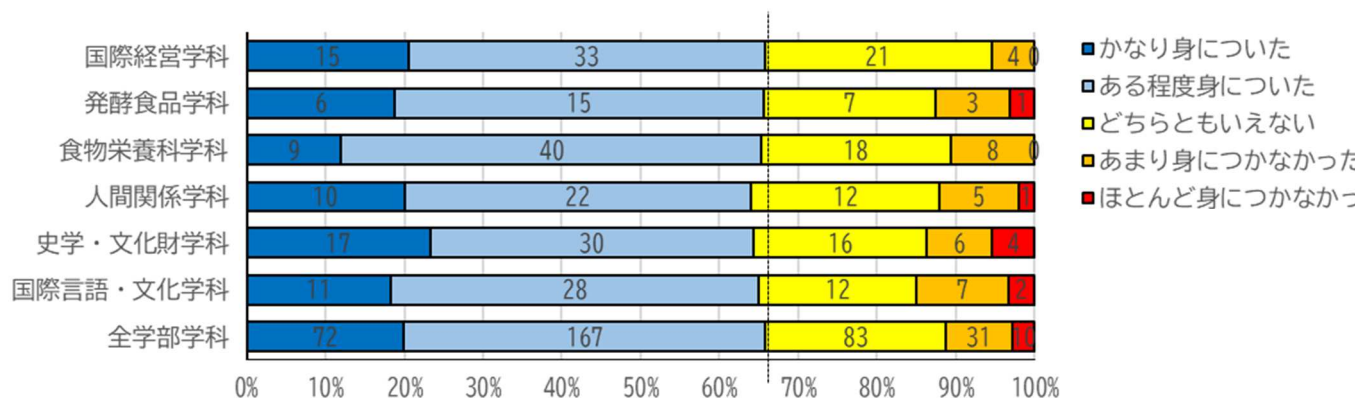


図 12. 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）の修得に対する主観的評価

組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 66%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。特に目立って低い傾向の学科は認められなかった。

(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 13 に示した。

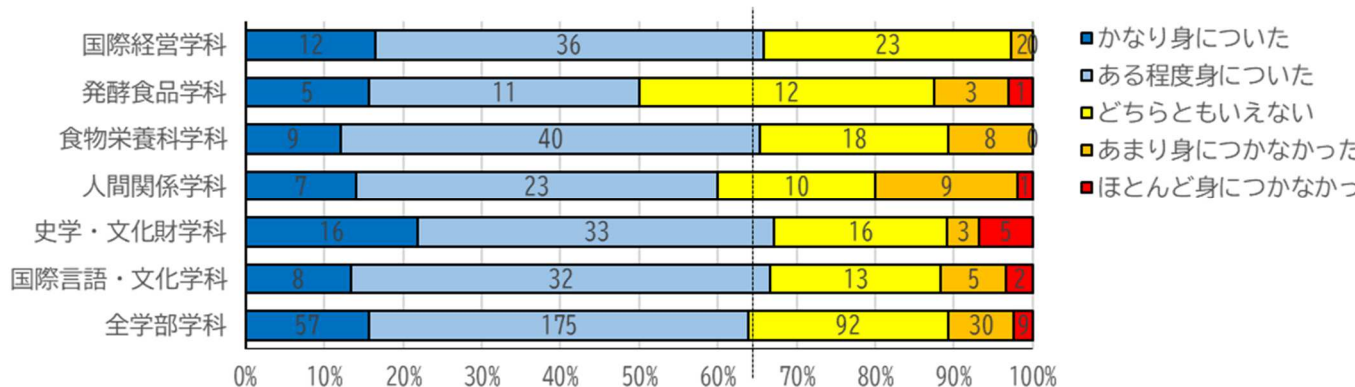


図 13. 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力の修得に対する主観的評価

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 64%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は 50%と低い値を示した。

(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 14 に示した。

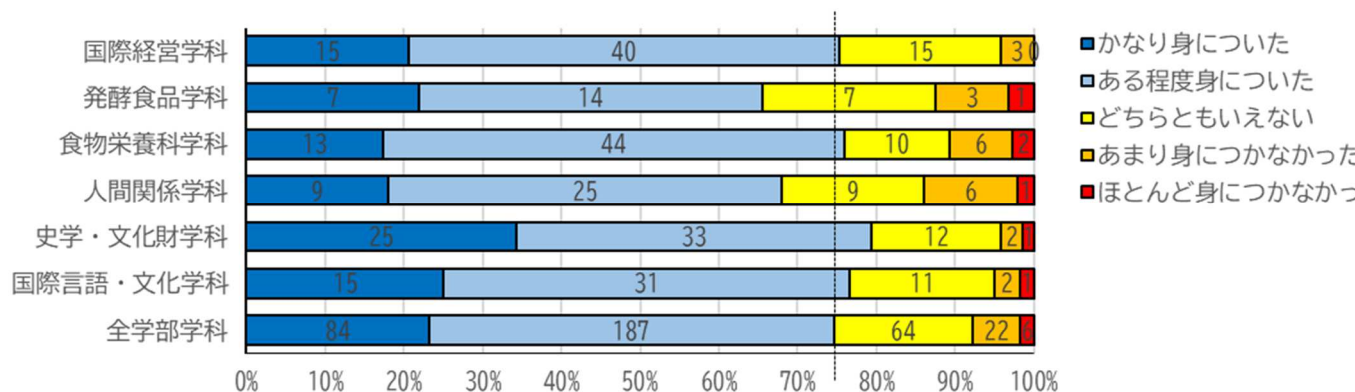


図 14. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力の修得に対する主観的評価

場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 75%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。特に目立って低い傾向の学科は認められなかった。

(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力についての主観的な修得状況について大学全体及び学科別の回答を図 15 に示した。

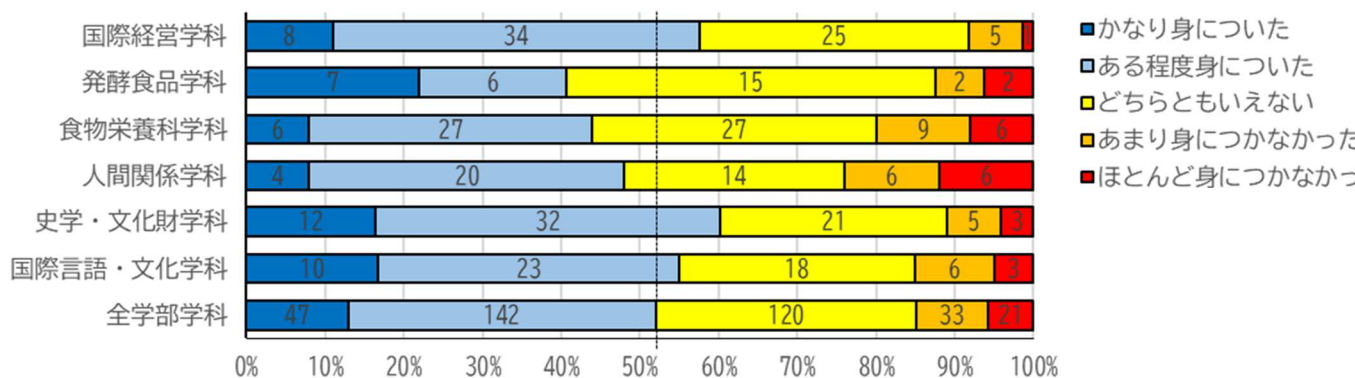


図 15. 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力の修得に対する主観的評価

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書や I C T 機器を用いて必要な情報を収集できる力の大学全体及び学科別の主観的修得について大学全体では 52%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科では 41%、食物栄養科学科では 44%と低い値を示した。

4. その他

その他として (1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと、(2) 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度、(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見（自由記述）、(4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験（自由記述）、(5) 卒業後の進路への満足度、(6) 大学で学びと自身の進路への貢献度、(7) 大学に期待すること（自由記述）、(8) 卒業する学科に期待すること（自由記述）、(9) 後輩へのメッセージ（自由記述）の質問を行った。

(1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことについて、学科別の集計を図 16 に示した。

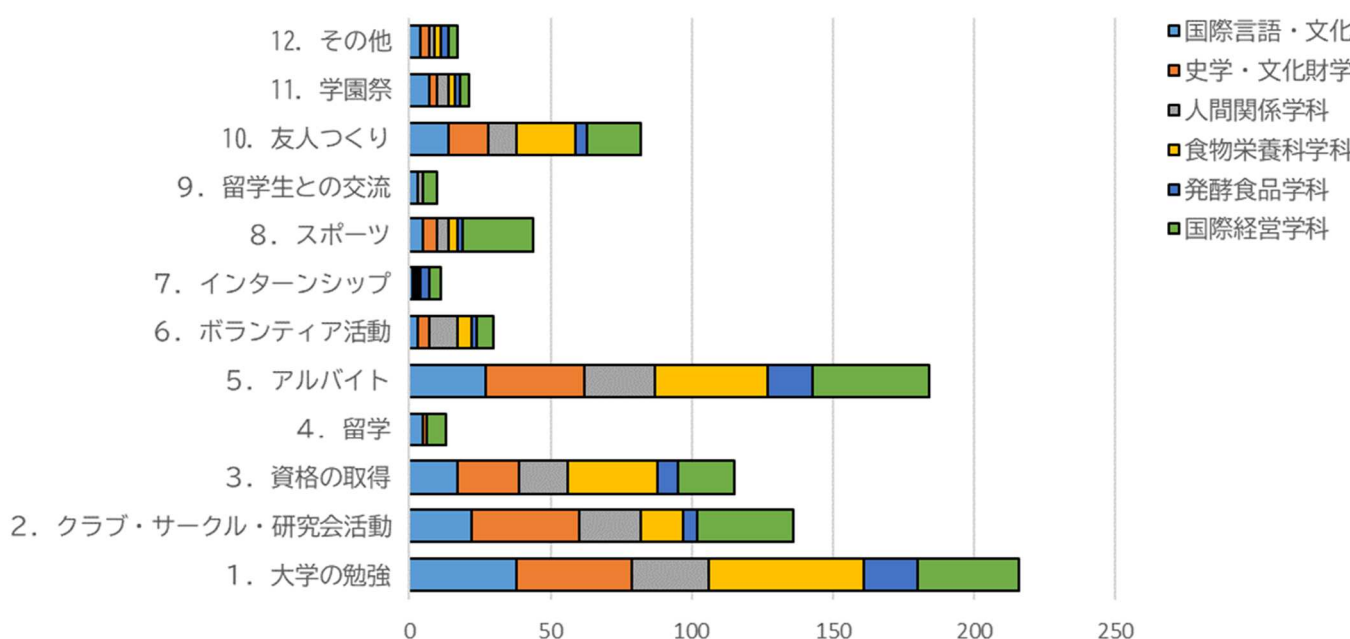
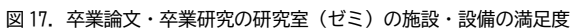


図 16. 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと

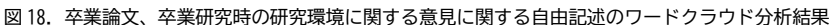
6 学科を超えて、複数回答において最も多く回答があったものは、大学の勉強であった。また次いでアルバイト、クラブ・サークル・研究会活動、資格の取得、友人づくりの順にあげられた。一方で、留学やインターンシップ、留学生との交流などには経験者が少なく、また学科による偏りも大きい傾向があった。

示した。



し低い値を示した。

た結果を図 18 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。



報告書末に資料 2 として添付する。

自分が成長できたと思う経験についての自由記述をワードクラウド分析した結果、教職課程やボランティアなど、様々な人々との関わりの中から学生の成長との関連が示された。自由記述の回答の全文を報告書末に資料3として添付する。

国際経営学科 21 31 15 5

発酵食品学科 9 12 9 1 1

食物栄養科学科 20 31 23 10

人間関係学科 13 22 11 1 1

史学・文化財学科 22 24 22 3 1

国際言語・文化学科 15 25 12 5 1

全学部学科 101 145 92 16 1

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

希望通り
ある程度希望通り
どちらともいえない
あまり希望通りではない
全く希望通りではない

卒業後の進路への満足度については、大学全体では 68%の学生が、「ある程度希望通り」以上で回答している。学科間においても大きな相違は認められなかった。

国際経営学科 22 29 19 30

発酵食品学科 9 15 5 2 1

食物栄養科学科 29 29 11 2 1

人間関係学科 17 21 11 10

史学・文化財 23 23 16 9 2

国際言語・文 16 28 12 3 1

全学部学科 116 145 74 20 9

0% 20% 40% 60% 80% 100%

■かなり役立つ
■ある程度役立つ
■どちらともいえない
■あまり役立たない
■ほとんど役立たない

大学での学びと自身の進路への貢献度については、大学全体では 72%の学生が、「ある程度役立つ」以上で回答している。史学・文化財学科では 63%と少し低い値を示した。

[illegible]

学生の記述にあるように、自主性を重んじることや、災害対策など大学が検討すべきことが述べられている。

(8) 卒業する学科に期待することに関する自由記述を学科ごとに、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、ワードクラウドを分析した結果を図 23～図 28 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。



図 23. 国際言語・文化学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

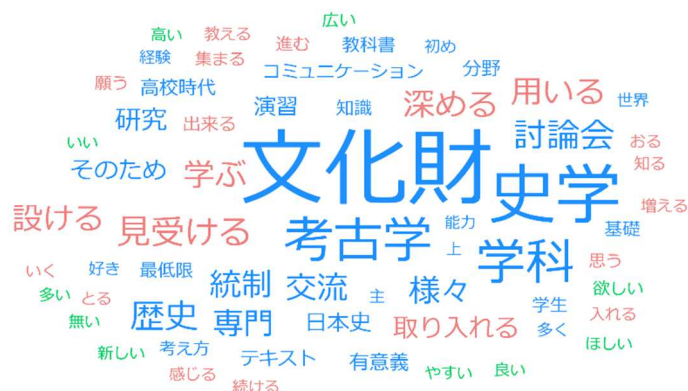


図 24. 史学・文化財学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

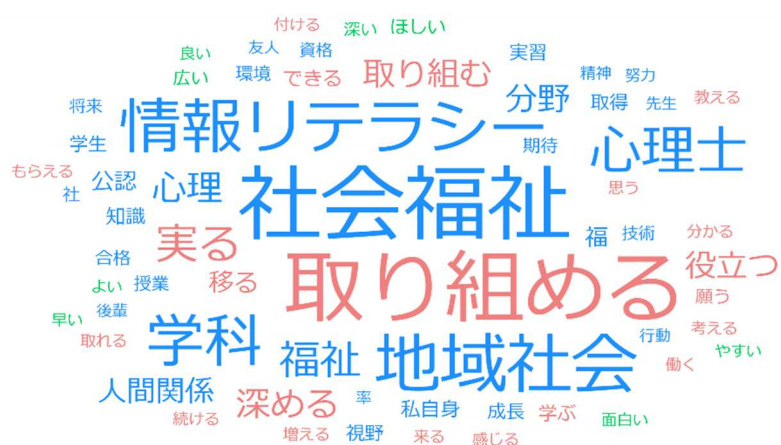
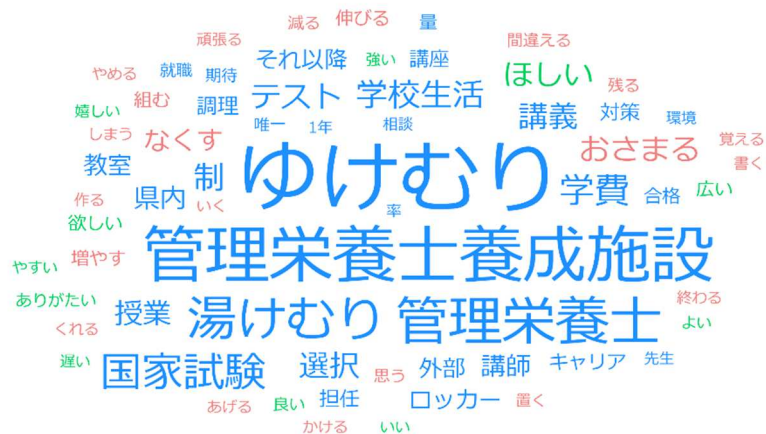


図 25. 人間関係学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果



卒業学科へのメッセージでは、卒業する学生からの学科に対する様々な思いが表現されていた。

(9) 後輩へのメッセージに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、ワードクラウドを分析した結果を図 24 に表示する (<https://textmining.userlocal.jp/>)。

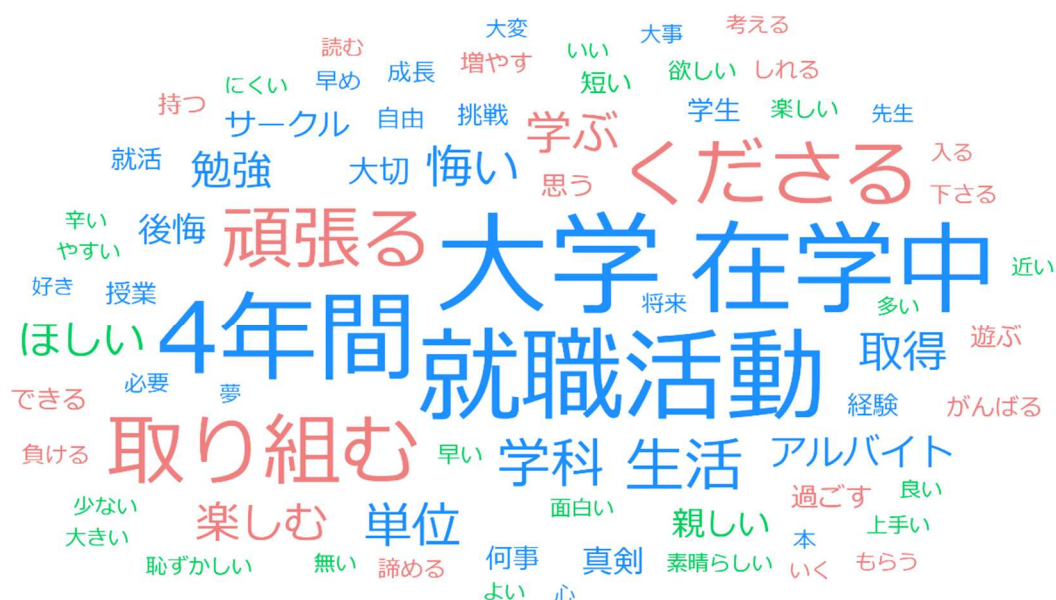


図 22. 卒業学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

後輩へのメッセージでは大学生活や、学科での学び、心構えや就職活動など多岐にわたるメッセージが得られた。

5. まとめ

別府大学では平成 30 年 3 月に卒業する学生を対象として、ディプロマポリシーの項目の定着確認をアセスメントする目的で、2019 年 1 月 15 日～3 月 20 日を調査期間として、卒業時調査を実施した。

別府大学を卒業することが確定した学生 336 名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙または web どちらかの回答を求めていくことで回答率 95%以上を目標とした。

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8 項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2 項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5 項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答 3 問を含む 9 項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査は学生自身の主観による達成度を「かなり身についた」、「ある程度、身についた」、「どちらともいえない」、「あまり身につかなかった」、「ほとんど身につかなかった」の 5 段階で回答願ひ、主観的達成度が「ある程度、身についた」と回答できる段階までを達成できていると考え、集計を行った。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する 8 項目については主観的な修学状況は、大学全体では「(1) 思考力や表現力などの基礎的素養を身につきましたか」に対しては 77%、「(2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。」については 66%、「(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。」については 74%、「(4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。」については 71%、「(5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。」については 75%、「(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。」については 59%、「(7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については 66%、「(8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については 42%という結果となった。

2. 専門力としての「(1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。」に対しては 85%、「(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。」に対しては 80%の回答が得られた。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）としては、「(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。」は 72%、「(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働性、傾聴力などを含む）。」は 66%、「(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。」については 64%、「(4) 場面にふさわし

い言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。」については 75%、「(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、ＰＣスキルなどを含む）。」については 52%の回答となることが明らかになった。

また、学科により大学全体の傾向から離れる特性を持つ項目があることも示された。

ディプロマポリシーとしては、本来は卒業できる学生すべてから、「かなり身についた」との回答が得られるよう設定されるべきであるかもしれない。

現時点での結果は、どのくらいの学生がどのような回答をするかという傾向や今後の基礎となる指標を獲得できたものと考えられる。

学科により大きな開きがある場合は、より良い結果を持つ学科との情報交換を行い、改善が求められる。項目と科目の関連性の強い授業の担当者は、この結果をよく考え、学生を「導くことが望まれるかもしれない。

さらに加えて、今回の調査は、あくまでも学生自身の主観的な到達度の回答であり、将来的には、何らかの客観的指標を基にした IR の実施を検討すべきと考えている。

より効果的で効率的な授業の改善は客観的指標による把握と、本人の主観的な到達度の双方から検討できるものと考えている。

「4. その他」として、学生の正課外の活動への参加状況や、自身の変化のきっかけなど多くの具体的な事例について知ることができたように考えている。

大学という場所と時間の中で、学生の「学び」と「成長」を構築していく場を作るうえでは貴重な資料となる。今後もカリキュラムや学位プログラムの再編などが進む中、継続的な調査の実施が必要である。

以上

資料1. 別府大学卒業時調査の様式

別府大学 卒業時調査

この調査は別府大学での学びの成果について、本学が定めた学位授与の方針（Diploma Policy：DP）の達成度について、大学を卒業される予定の学生の皆さんへ伺い、より質の高い教育を実践するための改善に用いるものです。

調査の回答には、ご自分で振り返って入学時や入学前のあなたのスコアを基礎として、考えてください。回答は5件法で、かなり身についた（1）、ある程度身についた（2）、どちらともいえない（3）、あまり身につかなかった（4）、ほとんど身につかなかった（5）を基本として設問に応じて選択肢は、かなり身についた、かなり思う、かなりできる、など適宜使い分けてください。

学籍番号..... 氏名.....

所属の学科に☑を入れてください。

- ☐文学部国際言語・文化学科 ☐文学部史学・文化財学科 ☐文学部人間関係学科
☐食物栄養科学部食物栄養学科 ☐食物栄養科学部発酵食品学科
☐国際経営学部国際経営学科

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

	1 かなり 身につ いた	2 ある 程度 身に つ いた	3 ど ち ら と も い え な い	4 あ ま り 身 に つ か な か っ た	5 ほ と ん ど 身 に つ か な か っ た
(回答例)→	○	●	○	○	○
(1) 思考力や表現力などの基礎的素養を身につきましたか。	○	○	○	○	○
(2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。	○	○	○	○	○
(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。	○	○	○	○	○
(4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。	○	○	○	○	○
(7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。	○	○	○	○	○
(8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。	○	○	○	○	○

次へ

	1 かなり身についた	2 ある程度身についた	3 どちらともいえない	4 あまり身につかなかった	5 ほとんど身につかなかった
--	---------------	----------------	----------------	------------------	-------------------

2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

- | | | | | | |
|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| (2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

	1 かなり身についた	2 ある程度身についた	3 どちらともいえない	4 あまり身につかなかった	5 ほとんど身につかなかった
--	---------------	----------------	----------------	------------------	-------------------

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

- | | | | | | |
|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| (1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| (2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働力、傾聴力などを含む）。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| (3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| (4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| (5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やＩＣＴ機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、ＰＣスキルなどを含む）。 | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |

次へ

4. その他

- (1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことを挙げて下さい（複数選択可）。
□1. 大学の勉強 □2. クラブ・サークル・研究会活動 □3. 資格の取得 □4. 留学
□5. アルバイト □6. ボランティア活動 □7. インターンシップ □8. スポーツ
□9. 留学生との交流 □10. 友人づくり □11. 学園祭
□12. その他（ ）記入ください。
- (2) 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備は十分なものでしたか。
□1. 十分に満足がいくものであった
□2. 満足できるものであった
□3. どちらともいえない、
□4. やや不満足であった
□5. 改善を希望する内容であった
- (3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見があれば記入してください。（自由記述）
.....
.....
- (4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください（自由記述）
.....
.....
.....
- (5) 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。
□1. 希望通り □2. ある程度希望通り □3. どちらともいえない
□4. あまり希望通りではない □5. 全く希望通りではない
- (6) 大学で学んだことがあなたの進路において役立つと感じていますか。
□1. かなり役立つ □2. ある程度役立つ □3. どちらともいえない
□4. あまり役に立たない □5. 全く役に立たない
- (7) 大学に期待すること（自由記述）
.....
.....
- (8) 卒業する学科に期待すること（自由記述）
.....
.....
- (9) 後輩へのメッセージ（自由記述）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

資料2. 「(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述」 回答

意見がありません。

なし

Wi-Fi が届かない

特になし

先生に指導してもらう時間が十分にあり、よかったです。

卒業論文の為に本を借りたのですが、2 週間経てば必ず返却する必要があり、何度も時期をずらして借りました。卒業論文の為に本はもう少し長く借りられたらよかったなと思いました。

特になし

作業する場がなかなか確保できなかったため、作業できる環境を作って欲しかった。

特になし

もう少し論文の書き方について指導、勉強する機会がないとなにをすればいいのかまったくわからなかった

大学自体をもっと開放的にすべき

ゼミの先生がいるかどうかや先生の指導の質のレベルの問題より、個人でやる際に家ではかどらない時などに大学でやろうとしても、閉まっていたり、時間が限られたりして大学から出ないといけないなど大学の時間に左右されがちになってしまうので、少しでも開放的になれば環境は変わるのではないかと新しい蔵書がほしかった

もっと大々的に卒業論文の書き方を説明して欲しかった。

卒業論文に必要な資料が研究室や図書室に備えられており、研究室にない資料は荒金大琳教授が貸してくださいました。客観的に文章を読むように後藤教授に指導していただき、卒業論文提出に向けたご指導を十分にいただきました。

先生たちが熱心に取り組んでおり、教養などが身につきました。また、卒論を通じて人間関係に再度見直す機会を得ることができ、ゼミ生と話す機会は難しかったのですが、より一層大学の中での学習を深めることができ、さらにボランティア活動を通じて地域との交流を深めることができました。卒業論文に戻りますと、しっかり人との交流を深めることが可能となり、よりよく活動することが目標でしたが達成できた。

なし

四年間の中で自分の興味のある分野で、卒業論文が書けたので良かった。

特に意見はありません。

特に無し

教授によって卒業演習や卒業論文の力の入れ方が異なるため、自分自身卒業論文の資料収集や書き方等に苦労した。

そのため、教授の卒業演習の講義の内容等を改めて見直してほしいとともにある程度統一をしてほしい。

特になし

機器の問題や質問に対する的確な返答の無さ、卒論に関する説明の薄さ等を感じました。

ゼミの担当教員の指導がよくなかった。

図書館が開いている時間がもっと遅い時間帯まで(20 時までなど)だと嬉しいと感じました。

ゼミに入ってません

特になし。

もう少し分析をしたかったが機材や機器が無かったためできなかったのです、機材の設置をしてほしい。

南北朝遺文の CDROM があれば、南北朝時代の研究に際して便利だと思う。

図書館の開館時間が短いと思います。十分な学習の場の提供という面において 2 時間程度開館時間を延長してほしかったです。

他館より現物貸借、複写依頼をする際の送料や印刷費など、学生の負担を減らすことは出来ないでしょうか？

特にありません

図書館にあった資料がやや古いと感じた。昔のことを研究するには良いと思うが、新しい分野についてはやや遅れているという印象を受けた。

特にありません

特にありません

研究環境は良かった。

なし

図書館の開館時間

特になし

なし

とても大変でした

特に無し。

31 号館にも別大同様の Wi-Fi 設備があるとありがたいと感じた。卒業演習で頻繁に 31 号館を利用する機会があったが、卒論の件でパソコンで調べ物をする際などその場で出来ず、非常に不便に感じた。

特になし

担当の池口先生の指導の下 ゼミの発表や日本人学生とのディスカッションなどして 深く交流できました、たくさんの勉強できました。論文を書くために とても役に立つと思います。

特になし

特になし

もっと早くから、卒業論文に取り組めばよかった

と感じている。

なぜなら、自分の人生スキルが上がるため。

なし

特になし

特にない

特になし

漫画制作にはパソコンやペンタブレット、スキャナー(B4 サイズ可)にプリンターなど周辺機器がたくさん必要です。その複数設備が今後更に重要になってくると思います。作業環境の完備が作業スピードを円滑にするものと思います。ですから少しずつ台数を増やすといいでしょう。それによって、延いてはより良い卒業制作展が催されるでしょう。

多くの参考文献が図書館にあれば良かった

卒業制作が大変だった

特になし

やってる人とやってない人の差

やってる人が損をする

教授が詳しく指導してくれた。

印刷機が壊れていて使えなくて不便だった

研究スペースが限られているので少し使いづらかった。卒論に向けてパソコン作業をする際にパソコンが少なく、やりづらいと感じた。

文献の探し方がよく分かった

自分が探している書物が図書館にすくなかった。

特にない

ない

特になし。

専門分野別の教員の増員。

とても良かったです。

特になし

なし

国試とかある人はもう少し早めの段階から進めたほうが良いと思う

なし。

私の場合は漫画制作でしたので、家で制作を進めていました。分からない所や悩む所があれば先生が時間を取ってくださり親身になって相談に乗って下さったので不安はありませんでした。感謝しております。

特になし

特になし

水道施設を作って欲しいです。

研究に関する本が足りない。

古い資料が多いので、最新のものを求めたい。

専門雑誌も少ない。

卒業論文のわからないところがあった時のアドバイスが的確ではなかったため、困ることがあった

特にありません

特になし

いつも進み加減が行き詰まった時、先生はちょっと助けを提供してくれたことがすごくありがたいです
無し

卒業論文を書くにあたり就活フェアのように早めに集めて趣旨ややり方、書き方のルールを配布された
ルールブックをもとに説明する機会を設けるべき。大学の先生という論文の先輩がいるから。いつから
何を始めれば良いのかという書き方をすればいいのか個々人のペースに任せる前に段階を踏まなけれ
ば最後の最後で追い込まれて時間がかかりすぎると思った。他の人の論文がどうなのかは知らないが内
容が薄くなる可能性があるのではないか。

環境はきちんと整えられていたが、有効的に利用することが出来なかった。

特になし

文章能力の向上。

無し

資料3. 在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験に関する自由記述

教職課程を経て、人前で話す事が苦にならなくなった。

学会発表

大学院試験

特に無い

課外授業やアルバイトで、コミュニケーション能力を培えたと思います。

人と円滑にコミュニケーションが取れるようになった

自分で受講する科目を選択し、時間を見て行動する。質問できる友人がいない場合は、周りの人と交流を図り問題を解決するように取り組む。これらは、とても自分を成長させる良い経験となりました。人と協力するからこそ、衝突することもありましたが意見を言う事の大切さを学ぶことができました。

コミュニケーションスキルの向上

サークル活動

より広い視点で物事を見るようになった

より現実的なプランを考えるようになった

5W1Hなどを使ったよりシンプルな思考が出来るようになった

アルバイトや実習等で物事に臨機応変に対応できるようになったこと。

部活で団長を務めたこと。人生で初めて組織をまとめる役になり、たくさんの学びがあった。

様々な視点で物事を見ることができた

自分がどんなところが弱く、またどんな時に自信を持って行動しているかが研究室の活動を通して実感出来ました。何でも頭で考えることは大切ですが、行動することが何かを変えるきっかけになることが学べました。

ボランティア活動を通じて地域との交流を深めることができました。福祉実習を同時にしたのですが、ボランティアとつながる部分があり、納得できるまで行動をすることができました。

学園祭の実行委員

なし

アルバイトやサークル活動に取り組んで、人間関係に関してとても自分の考えが広がった。

実習では、専門分野について学ぶことができ、また、自分の将来目指すべき仕事について考えるきっかけとなり、とても良い経験ができたと思う。

精神的に強くなった事だと私は思います。

野球部在籍中では特に、野球での技術だけでなく、与えられた環境の中で工夫し練習に取り組んできました。一人では生きていけないことを痛感しました。4年間で大学でしか味わえない経験をできて、財産になりました。

まとめる作業

特に無し

私は在学中に様々な世界観や見方、チャレンジャー精神を身に付けることが出来たと思う。

特に、私は高校時代に地理科目を選択しており日本史や世界史の知識などはほぼ皆無であった。そ

のため、在学中に主コースを日本史・アーカイブズコース、副コースを世界史コースにし日本史、世界史の知識等を学ぼうと選択したのである。このようなチャレンジャー精神を通して自分自身を成長させることが出来たと思う。

学園祭の実行委員、文化会役員などを経験し、組織の中での自分の役割や協働すること、責任感、規範意識など、様々な事を学び、また大学内外の人との交流や年齢、学年が違う人との交流で自分自身の視野が広がり、何事にも積極性を持ち、行動できるようになったと思う。

また、教職課程では専門的な知識を丁寧に学ぶことができ、模擬授業では、実践的な事を多く学ぶことができた。

- ・アイルランド留学
- ・部活動（剣道）
- ・バイト
- ・教職の授業
- ・教育実習

人をまとめる能力

グループディスカッションをする時などに、以前の自分はあまり発言をしないまま終わっていたのですが、何度もそうした機会があった為、だんだんと躊躇なく自分の意見を言えるようになりました。専門的な知識の習得や、友達と一緒に将来について、仕事について話せるようになった。

幅広い知識を得ようとするようになった。

実験をととても楽しいと思うようになった。

卒業研究について

鹿児島県であった学会に自分が参加し発表したことがなかなか出来ない体験でいい勉強になりました。

とても緊張しましたが、これから先なかなか学会に参加するといった体験は出来ないと思うので参加出来て良かったです。

色々な年齢の学生と関わることで、自分のコミュニケーション能力の成長につながった。

専門分野の講義や演習、実習を通して相手のことを常に考えながら人と接するようになった。人との接し方やコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。

4年間のアルバイト生活を通して、社会人となる準備をすることができ、成長できました。

吹奏楽団での活動の中で、先輩だけでなく様々な方と関わり、交流したりすることで、言葉遣いなど社会にでたら当たり前になってくることを学ぶことができ、社会性などの面において、入学前よりも成長することができたと思います。

自分の意見を前よりははっきり言う勇氣を持ってする事が出来るようになった。

また留学生などと交流する事で多角的な考え方等をするようになった。

部活動です。

自分の目標とする職業に向けて、

目標達成に向けての道筋を考え、

取り組むという力は成長できた点と思います。

意思表示。

実習などが多かったため人をまとめたり必要な立ち回りがわかるようになった

ゼミやグループワークを多く経験し、自分の意見を発信することに怖さを感じなくなり、他人の意見に対する傾聴力も身についたと感じる。

学ぶことの大切さ

自分で自ら考え正しい選択をすることを教職課程や専門分野で学ぶことができ自分自身も成長することができた

今までと比べて相手の気持ちを考えて行動できるようになったと思う。

専門的な知識や技術が身についたと思う。

一人暮らしで生活し始めたこと。

なし

高校、中学では絶対になかった経験を感じて、ここに居る。

卒業論文や授業のレポートなどを通して、書く力は大きく身についた

サークル活動を通して通常の活動や大学祭の準備など1から全て部長達と協力していくことで指導する力や緊急時の対応などを身につけていきました。

特になし

自分の気持ちを伝えることができるようになった

多くの知識を学べた

人として少しは成長できたと思います

環境歴史学コースへ進んだことで、現地へ足を運び自分の目で、資料だけでは知ることのできない新たな発見や、意義を学ぶことができた。それに加えて、初対面の人と話すことが苦手だった内向的な性格が、フィールドワーク中の聞き取り調査や班活動などで改善された。人との繋がりを持つということや、多面的且つ、細部に意識を向け物事を捉えるということは、社会人になっても必要な力であるので、それらを人並みに身につけられたことが、自分が成長した点であり、今後も伸ばしていくべきことだと感じる。

教職免許状や学芸員の資格取得を通してアウトプットの技術を少しなりとも身につけることが出来たと感じる。

サークル活動や授業を通じた経験が就職活動に活かせる時

資格取得ができた！！

留学生として日本人の学生と交流できて日本人学生の考え方など理解できるようになり、自分自身の日本語も上達になったと思います。

- ・自分の意見を言えるようになった。
- ・さまざまな視点から物事を考えるようになった。

多くの人と出会い、関わることで、人との関わり方を学ぶことができた。また、自分自身の気持ちや考えと向き合うことができた。

専門的な知識を伸べること。

教職課程は自分を成長させてくれた。

高校生の頃はまったくと言っていいほど同級生とコミュニケーションが取れませんでした。大学の4年間で少しは話せるようになったと思います。

多文化社会への理解度が深まった。

いろいろな資格の授業を受けることで今まで関わることのなかった人たちとも交流でき、様々な考え方や意見を聞くことができた。その中で、自分の考え方を見つめなおし、より深く考えることができるようになったのではないと思う。

勉強、読書の楽しさに気づいた。

主体性や向上心が上がった。

自己理解が出来た。

計画性の大切さを身をもって理解した。

知らない知識をたくさん身につけてそれを他人に伝えることができた

夢棚田プロジェクトの参加

様々な実習を通してコミュニケーション力がついた

実習の一環である教室や臨地実習は集団で活動するため、自身の考えや行動を見直すことができたため成長できたと思う。

アルバイトや友達でのコミュニケーション

周り自分、自分自分。それぞれの関係性、ないしはその時間割を絶妙なバランスでとれるようになったことです。

友人と出かけたり遊んだり食事をしたり、アルバイトの人たちと仕事はもといプライベートでも仲良くするなど、家族以外の環境また一人の時間に拘らずに生活出来るようになりました。そしてそれを楽しみ思えるようになりました。

ゆけむり栄養教室

グループワークにより協調性や積極性が身についた

理論と話の筋を通せるようになった

Photoshop を使えるようになったこと。

特になし

特に

友達が作れた

FES を通じて APU の学生や地域の方々との交流により地域に貢献出来たと感じた

早寝早起き朝ごはん〜〜！！

専門的な分野を実習などで活かせること

最初は管理栄養士になりたいと思い入学しましたが、実際になりたい職業の専門性の知識としてほとんどありませんでしたが、学年を積み重ねるうちに深く知識が付きましました。また、講義だけではなく、実験や校外実習など

班のみんなと協力しながら、一つの課題をやり遂げる力や、実習を通して自分の専門性の知識がどれだけについてあるのか知ることでもでき、管理栄養士とて求められている像について改めて知ることができました。

我慢

サークルで、幹部をさせてもらい、コミュニケーション能力が身についた。

夢棚田サークルや就職活動の際に様々な人とコミュニケーションをとる機会が多くあり、様々な視野から物事を考えることができた。

専門分野について詳しくなった

特になし

ない

アルバイトで色々な面で成長できたと思う。

人との関わり方な社会人になったときの心構えなど

以前より行動力がついたと感じる。

自分の考えを持って発表することができた。

責任感がついた

1人でやる力がつきました。

国家資格に向けて勉強したこと

目上の人との関わり方

私は今までボランティア活動などほとんどした経験がありませんでした。

ですが、大学生活を通し自分が学んだことを生かしてボランティア活動を行う経験をいただきそれを通してたくさんのことを学ぶことができました。

管理栄養士の資格取得に向けて勉強している時

物事を多角的に見ることができるようになった。

研究室の室長となり、人前に立って話し、伝えるということを経験し、成長できたと思います。

高校に比べてコミュニケーションが身について多くの人と関わりを持てました。

分からないことを自主的に先輩や先生方に聞くようになった

石垣祭実行委員

芸術。

当たり前の事ですが、単位を落とすのも取得できるのも自己責任であるということで、少し社会人になる準備が出来たと思います。

責任感が、大学に行く事で多少身についたと思います。

専門分野にて漫画を最後まで完成させる事を何度も経験する事により、何かを始めたら、必ず物事を完遂させようという意識を持つようになりました。卒業制作については一年前から取り組んでいたのですが、長期の制作にあたってきちんと計画を立てて、期日までに終わらせるという事を成し遂げた事が一番大きいと思います。

特になし

ボランティア活動

自分から動くことで、友人を作れた

大学祭の実行委員を通して、他者と協力して何かを成し遂げる力や協調性が身についたと思います。

ゼミ先生がいつも丁寧に指導してくれて、自分の欠点を気付き、成長した。

人前で発表することが多かったため人前に立っても緊張しなくなった

司書資格取得のための講義で学んだメディア機器を使用する講義のおかげで日常でも活用できるようになった。

物事を考えるときに1つの方向からだけでなく、多方面から考えることができるようになった。

私事ですが、大学に入ってから初めて、自分に自信が持てたように思います。

発展演習などでグループワークをした事でコミュニケーション力を高めることができた。

特になし

時間の大切さが切々と感じできる！また、自ら責任を負うこともできる。

自分の話したいことをまとめるのが苦手だったが、簡潔に伝えたいことをまとめることができるようになり PowerPoint などが作りやすくなった。

教職の免許を取ることができたこと。

ボランティア団体の別府 BBS 会に入会し 4 年間活動してきたこと。会長を 1 年間務め、県規模のイベント主催も手掛け、実行委員として動いてきたこと。先輩や同期、後輩とのかかわり。福祉の勉強をこの世年間できたこと。実習に参加した事。実習報告会で発表したこと。卒業論文で実際に働くスクールソーシャルワーカーにインタビューをしたこと。進路に悩み、自己分析ができたこと。

高校生活では乱れた生活を改善できずに終えた。

しかし、大学在学中に少しは自覚が芽生えたのか、自己管理をしっかりと行える程度には成長した。

特になし

様々な友人と出会い多くの意見を交わしあったこと

人間関係や上下関係。おもにコミュニケーション能力の向上

学祭の実行委員をしたことです。

資料4. 大学に期待することに関する自由記述

研究室にWi-Fiが届かずに一年間過ごしたので、早めに対応してほしい。

学食のメニューを増やして欲しい

土地の拡大

発酵棟のwifiを強くして欲しい

土地拡大

災害時電車の運行状況だけで講義を実行するかどうかを判断するのは如何なものか

なし

特になし

自主性

特になし

全体的に学生にもっと優しく、親切な対応

学生主体の活動の場が増えて、学生一同参加型のイベントがあると盛り上がると思いました。

大学生活の中でこの上ない体験といっても学園祭や手話サークルに入ってたので、手話の知識を深く理解することができた。

なし

これからも、将来役に立つ資格が取れて、かつ、学ぶ過程を大切にできる授業を提供できるような大学であってほしい。

学校の敷地範囲が広がる事です。

別府大学に在学して多くのことを学ぶことが出来た。特に、別府大学には数少ない学科もあり県外生も多い。

そのため新たな発見をすることが出来、また、自らの価値観も変化することが出来た。今後も様々な人との交流の場を設けていってほしいと私は期待する。

先生によっては、生徒への対応がかなり酷い人もいる。理不尽なことを言われて悔しい思いや悲しい思いをしてる生徒も沢山いる。もっと生徒のリアルな声を聞いてほしい。

進路実現

夢の実現

大学や図書館をもう少し遅くまで開けていて欲しいと思います。

また、自主勉強が出来たり、みんなで話したり出来る場が少なすぎます。学生ホールや空き教室だけでなく、そういった場を作って欲しいです。

特になし

今後、大学の名があがっていくこと

特になし。

在学中の留学制度や支援等整備してくれたらいいなと思う。

学費を免除する返済不要の

奨学金を新設して欲しいです。

また、成績優秀者に

学費の免除等することによって

学生の学習意欲を高めた方がいいと思います。

学内メールについては

常用のメールアドレスでない学生が多いため、

学生への連絡の仕方を

考えた方がいいと思います。

キャリアの先生を充実させて欲しい

学生の自主性に寄り添うこと。

特にありません

特にありません

よりよい施設で勉強できる環境をつくってほしい。特に自主勉強できる環境をもっと増やしてくれる
といいと思う。また、図書館の開放時間を長くしてほしい。日、祝日も開放してほしい。

さらに歴史をつくっていくこと。

なし

今後とも変わらない質問しやすい環境です。

特になし

特になし

災害時の迅速な対応

Wi-fi の設備環境

特に無し。

補講・休講などの連絡はネットの掲示板で見れるようにして欲しい。急に休講になった場合など、その授業を取っている生徒にメールを送信してもらえるようなシステムにして頂けるとありがたいと感じた。

スケジュール機能の充実、休講連絡等

留学生課の色々迷惑をかけてすみませんでした、そして四年間 ありがとうございます。

・アイスの自動販売機を置いてほしい

・駐車場を完備してほしい

日本の文化と新しいものを体験する。

食堂の充実

インターネットなどをうまく活用して、休講や行事の内容がどこからでも見れるようにしてほしい。
また何かしらの集まりの際には開始時間だけでなく、終了予定時刻や話をする大方の内容まで記載してくれるとありがたい調査をと思った。

資格の授業で、同じ資格をとるための授業を、同じ時間割りに何個もいれるのをやめてほしい。先生側の都合もあると思うのだが、できるだけ配慮してもらえると嬉しい。

様々な人との関わり。

災害時の対応を早めにしてほしい。

災害で電波あるとは限らないのに携帯で安否確認取るのはおかしいと思う。

工事を昼間にされるので勉強集中できなかった

災害時などの伝達が遅かったためもう少し早いと良い

環境がさらに良くなることに期待する

災害時の伝達が、遅かったり分かりにくい

僕が大物になったらあやかってほしいです。

県外の求人が多く来るようにしてほしい

卒業論文を頑張ってね

特になし

パソコンを自由に使わせてほしい

友達をつくるチャンス

トイレにハンドドライヤーを置いて欲しい

社会で役立つこと

テニスコートを作って欲しい。

ない

運動生理学のやる意味がわからない

文化財分析専門の教授がいるとより活発に勉強および研究ができると思う。

災害訓練のときは

メールで安否確認ではなく

出席でいいと思う

一般学生向けに是非温泉作って欲しいです。

PR にもなるし、なぜ別府市に大学があるのに学内に温泉がないのかが謎です。

図書館の美術、芸術に関する本を充実させてほしい。

証明書の値段をもう少し下げてほしい。

連絡をはやくしてくれないと予定が立てれない

車椅子の方が利用しやすくなるようなバリアフリー環境を作って欲しいと思っています。

自主性を磨くこと

なし。

人間力をあげること。

大人としての、人間関係を形成すること。

私立大学でマンガアニメーションコースという専門分野があるのは他の大学にはなかなか無いとても魅力的な点だと思います。是非これからも続けて欲しいです。そしてクリエイティブな人材が沢山輩出される事を期待しております。

特になし

特になし

掲示等を1号間前だけでなく、他の場所にも掲示して欲しい。

図書館の休館日を減らしたい。

特にありません

重要な書類提出や行事の時には掲示板にプリントを貼るだけでなく、ホームページからも分かるようにしてほしいです。

短大の授業、教材がわかりやすいものがある（特に運動生理学など）

アンケートに匿名性を確保してほしい

意見箱などにどのような意見があってどういう対応をとってくれたか公開してほしい

災害時の避難や休講、対応をはっきりしてほしい。また迅速に対応をとってほしい

電車の運休情報から自己判断ではなく、学校側からホームページなり、学生メールなり休講情報を出して欲しかった。

特にありません

就職活動を急かすくせに、大学内で行う適職診断が遅すぎると感じます。

はは、図書館は日曜日でも開館できる！または遅くて閉館すること！先生が学生さんの思考力を育むように工夫すること。

連絡事項等をもっと早く通知して欲しい

卒業式の日程や休校に関する連絡などの生徒に必要な情報を早いうちからホームページから確認できるようになるとうれしい

大学がいいです。

掲示板のみでの連絡が多い。情報を掴むには大学に行くしかないため、何かあった時に困った。もっと情報をつかみやすい共有の仕方を期待したい。

御大学の更なる発展を願っております。

特になし

大分で1番の大学。

・休講などの情報が 掲示板だけでなく、ネット上で見れたり、スマホに通知するなど、はるばる登校して来て知るというショックを受けないようにしてほしい。

・大学では手が施せないかもしれないが、通学路がすれ違えないほど狭いのは、毎日登校していると憂鬱になる。改善を期待したい。

資料5. 卒業する学科に期待すること（自由記述）

国際言語・文化学科

特になし

なし

特になし

歴史はどの分野にも必ず必要になるため、史学・文化財学科の授業を国際言語・文化学科の学生も多くとる機会があれば学習内容の幅も広がるかと思いました。

なし

教員採用試験に合格できるサポート

もう少し卒業論文に取り掛かる時期を早めて欲しい。

専門の先生がもっと増えてくれたら嬉しい

特になし

近代詩についての講義

もっと専門できな知識を学ぶことがができる。

学生自身の能動力こそが馬鹿げた夢を大成するに最も要であることを、入学ド頭から説明し促して欲しい。またその業界の素晴らしさのみを語っていただきたい！

これから大手の会社に入る人が入れ欲しい

特になし

なし。

この学科に入らないと知ることができなかったことを知ることができる事。

制作する事の楽しさを学生に伝えて頂きたいです。そして後輩で有名な漫画家や映像クリエイターが出てきたら嬉しく思います。

将来の選択肢が増えるようになってほしい

文系は理系と比べて学ぶ意味が無いなど言われていますが、これから社会に出て多くの方と話したり自分の意見を正確に伝える、相手の心中を汲み取るなどたくさん役立つことはあるので、縮小などせずこのままであってほしいです。

書道コースは、学びたい人もいると思う。復活してほしい。

日本語学コースは、分野が狭いと思う。方言などに偏っていると思うので、もう少し現代語の言語について学べたらいいと思った。

中国語や韓国語など、近隣の言語について学べるコースがあればいいと思う。

史学・文化財学科

史学・文化財学科は日本史や世界史を初め考古学など歴史を主に研究する学科である。そのため、歴史好きが集まりやすく様々な人と交流が出来る。私も、この学科で多くの人と交流することが出来た。また、高校時代歴史を学んでいなかった私も歴史に対する知識や考え方を学ぶことが出来たと思う。

この史学・文化財学科は私のような歴史を学んでいなかった人でもとても有意義となる学科であり、様々な経験をすることが出来る学科であったと思う。

人とコミュニケーションをとる能力が

あまり高くない学生が多く見受けられるので

学生間で交流する場を設けた方がいいと思います。

例えば専門演習等で

討論会等が良いと思います。

特に無し。

専門分野を深めていく上で基礎となる最低限の知識は、教科書などのテキストを用いて教えて欲しい。

そのようなところは統制して欲しいなあと感じた。

専門性の向上

近現代に力を入れて欲しい

様々な体験学習を取り入れて欲しい。

考古学・文化財科学コースに文化財分析の専門の教授がいたらいいな、と思う。

大学外での積極的な研究。

歴史美術や芸術に関する講義が増えてほしい。

特になし

新しい発見を続けて特に考古学ではもっといろんな研究が進めばいいと思う

現在、私が所属していた史学・文化財学科は御大学だけでなく、広くに知られた存在であると思っております。

そのため、史学・文化財学科には現状以上の更なる発展を願っております。

人間関係学科

もっと資格取得者が増えること

公認心理士が取れるようになるので、社福・精神と共に合格率や後輩に期待しています。

人間関係学科という中で、広い視野で取り組めることができ、さらに行動に移することができました。

友人もたくさんできとてもよかったと思います。期待することは、もっと地域社会を深めるためにも、先生たちの力と私自身の努力が実ったことも人間関係学科の力であるのでこれからの自分の成長と学科の成長に期待したいです。

情報リテラシーの授業では、将来に役立つ技術や知識を身に付けることができたので、これからも取り組み続けてほしい。

実習では、専門分野を深く学ぶことができ、社会福祉士としての仕事を考えることもできたので、とても良い経験だった。また、授業に、実際に現場で働いている社会福祉士の方が来られて教えてもらえる環境はとても良いことだと思うので、継続できることを願います。

他の学科のように、学生用のロッカーがあったら良かったなと感じました。

面白い人材をたくさん育ててほしい。

特にありません

特になし

心理、福祉の分野において、もっと多くの学びの場を学生に与えてほしい。

もう少し様々な連絡を早くしてほしい。

特にありません。

特にありません

心理コースの定義がイマイチ分かりませんでした

先生がもっと分かりやすいように知識と内容を説明すること。

スクールソーシャルワーカーの科目、児童福祉のことが学べる環境、福祉の教員、職員育成

特になし

食物栄養学科

県内唯一の管理栄養士養成施設として、頑張ってもらいたい。

特になし

ゆけむりなくしてほしい

特にありません

1 年次からの国家試験対策がありがたかった。また、担任がいることで就職のことや学校生活のことなど相談しやすい環境があったのが良かった。

国家試験合格率をさらにあげていくこと。

特になし。

調理を増やしてほしい

ゆけむりという授業は選択制

外部からの講師の講義は選択制

キャリア講座は三年までにする。それ以降は選択制

ロッカーと靴箱を広くしてほしい

学費がもう少し減るといいかも

講義・実習内容の量や質がさらに良くなることに期待する

学費削減してほしい

足切りするなら個人の成績が伸びるような対策をしてほしい

授業時間で終わるカリキュラムを組んで欲しい。

卒論書かせたいなら、全員に同じ負荷をかけてほしい

湯けむり教室をするのは良いが毎日遅い時間まで残ってやらせるのはどうかと思う

模試のやり直しをするのは大切だと思うがたまに回答をくれなかったりして、間違えて覚えてしまう場合があるので解説をしっかりしてほしい

テストの際に不正行為防止のためカバンをしたに置かせる先生がいるのでやめて欲しい、せめてイスの上でいいと思う

小テストや普通のテストでちゃんと時間内におさまる量のテストを作って欲しい
大分県に一つしかない管理栄養士の養成学校なので大分だけではなく県外からも行きたいと思われ
るような学科になってくれるよう今後も期待してます。

ない

運動生理学のテストをどうにかしてほしい

とくなし

もっと合理的に管理栄養士に向けて勉強出来るようになれば嬉しい。

授業を 15 回でて、テストがあっても単位がない授業があった

湯けむり健康教室の意味がわからない本来の意義から離れていってる感じが強かった。担当の先生以
外からも一度意見を取り入れた方がいいと思う。

発酵食品学科

学科名の変更

学科の名称の変更

知名度を上げてほしい

珍しい学科なので、それをいかしてより多くの学生が学びに来て欲しい。

特になし。

新しく来られる先生方が多いため、新しく様々なことに取り組み、新しい風をふきこませてほしい
今後の研究による六次産業の発展です。

特にありません。

国際経営学科

なし

このままでいいと私は思います。

いい先生方に出会えたので良かったです。

なし

なし

国際経営学部の先生 四年間 ありがとうございます。

進路に特化した科目を学ぶこと

特になし

無し

今後博士が出ること

資料6. 後輩へのメッセージ（自由記述）

なし

特に無い

いろいろ、大変なこともあるけど、それを経験して今ができてるので、諦めず頑張ってください

頑張れ

頑張ってください

特になし

なし

大学での勉強は将来非常に役立つことばかりであるため、在学中に真剣に勉強するべき。

人間関係学科の先生達はとても個性豊かで面白いし、距離が近くて話しやすいです！学科関係なくたくさんの人に関わってもらいたい方々です。（色々タメになる）

また、4 年間はあっという間なので自分がやりたい事はとことんやった方がいいです。そのやりたい事が勉強以外の事でも私は何でもやる事をオススメします。とにかく自由なので、個性もとことん磨いて楽しく過ごす！そして学びの姿勢をきちんと持つ！が個人的には大切なあと思います。ステキな大学生活を！

学習時間を増やすことも必要ですが、とにかく良い本を読むことが大切だと思います。私も卒論を始めるまではそこまで本に親しくなかったのですが、感性と視野を広げる意味でも本に触れる機会を増やすべきだと思いました。

とにかく、何か目標を持ってください。そうすればどんな学科に入っても負けずに挑むことができます。私は福祉を深めるために学科に入り、国家試験受験資格を得ることができました。そのために、何度も先生と先輩の助言をかりて乗り越えることができました。あきらめないでください。そして、精神疾患を私は抱えていたので、何度も心折れることがありました。そして、休養という選択を選びました。休養することで自分自身と向き合えることができました。そして、家族の存在も忘れないでください。決してあきらめずに前を向けば、別府大学は素晴らしいところと思えるはずです。

頑張って

楽しめよ

なし

今ある時間をとにかく大切に、授業一つ一つに真剣に取り組んでほしいと思う。何事も、やる前に大変だから、などの理由で簡単に諦めていたら、自分の将来のことを考えにくくなると思うので、まずは挑戦してみたらいいと思います。

何が大切で優先するべきか、それをわかる人間になってほしい。

大切なものは後から気づくので取り組むことに早すぎることはないと思います

頑張ってください。

強制されていた今までの学校生活と違い、ある程度の自由が許されている大学生活を実のあるものにできるかどうかは自分次第。何のために今大学にいるのか、ここで生活をしているか真剣に考えて、今を大事にしてほしい。

ここまで親切に学生一人一人に寄り添った指導をしてくれる大学はないのではと思います。
分からないことはすぐに先生に聞いたりする環境があることは貴重なので、どんどん活用して行ってほしいです。

国家試験に向けて頑張ってください。

就職活動を頑張ってください。

やりたい事は何でもやりなさい。やらずに後悔するよりもやって後悔の方が心残りは少なくなるよ。

大学生活の中の様々な体験を通して、社会人になる前にたくさんのことを学んで下さい。

学生生活を

だらだらと過ごすことは

非常に勿体の無いことです。

大学を卒業したら

社会の一員となることを

しっかりと自覚したうえで、

夢を持ち、何が自分に必要か、

そのためにはどのような努力が必要となるかを

考えながら

夢に向かって計画的に頑張ってください。

国試頑張ってください

何事にも妥協は良くない。

特にありません

自分の夢をしっかり持ち見失わずに真剣に向き合うことを恐れないで欲しいです

大学生のうちにできることがたくさんあるので、いろんなことに挑戦してほしい。私は留学とかすればよかったと思っているので、やりたいことがある人は是非それをやってほしいと思う。また、勉強も大事だけど、友達やサークルの仲間など遊ぶことにも一生懸命やってほしい。そして、悔いのない大学生活を過ごしてほしいと思う。

頑張ってください。

単位取得頑張ってください

楽しかったなら、それで良い。

がんばれ

たくさんのことに挑戦してみる事をお勧めします。

特になし

勉強頑張ってください

惰性ではなく、自分から本当にやりたいこと、将来したいことを探す。

特に無し。

好きなことを思いっきりできるのが大学なので、別府大学で好きな研究を恥ずかしがらずに楽しんでください

Fランク大学やけど頑張れば道は開けます！！

留学生同士ばかりで交流しないように 出来るだけ日本人学生と交流して そのうちに 日本語が上手く。

最後の学生生活悔いの残らないよう楽しんでください。

全ての経験が自分の財産になるよう、大学生活を謳歌してください。

積極的に学校の活動学院生活を楽しむこと。

無理せん程度に頑張れ。

がんばってください。

日々、色んなことにチャレンジしてほしい。

また何か1つのことを極めてほしい。

その経験が、自身を大きく成長させるから。

単位取得頑張ってください。

辛いこともあるけど周りのサポートを有効に活用したら乗り越えられるから頑張ってください

生物を得意になると強いです

負けるもんか

なんとかなる

専門教科が多く大変なことがたくさんあるとは思いますが、クラスのみんなや班のみんな、先生方と一緒に頑張ってください。

4年間はあっという間です

頑張ってね

がんばれ

特に

遊べ

ちゃんと単位は取っておいた方がいい

あとあと大変

きむけんに入った方がいい

四年になって焦って勉強するのではなく、毎回講義を受ける中でしっかりと理解して、復習した方が四年生になって心に余裕が持てて就活と両立できると思います。

卒論頑張ってください

自分の進路が決定しているのであれば、最後まで頑張ってください。

4年間頑張ってほしい。

単位はしっかりとってもらって、大学を、楽しんでもらいたい。

頑張ってください

ない

4年間勉強だけでなく、部活やサークル、アルバイトをしっかりと楽しんでください。

早い段階から勉強すること。

就活は後悔しないように沢山の場に足を運ぶこと。

特になし

勉強と遊びのメリハリをつけて

何事も早めに取り組むことが大切だと思います。

卒業するまでは気が抜けないと思いますが頑張って下さい。

それと、沢山友達と遊んでください。

研究室の活動をこれからも続けてほしい。

大学4年間は勉強することだけが全てじゃない、遊んだりサークルで先輩後輩のマナーを守ったりと色々あるから固くならず ゆっくりと楽しく大学生ライフを楽しんで欲しい。

大学の勉強だけでは足りない部分があるから、自主的に進路には何が必要かを早いうちに情報収集することが大事

なし。

大学生活は、長いようでとても短いので

たくさん楽しむこと。

大学での4年は長いようで、実はあっという間に終わってしまいます。4年間という学びの機会を与えられているのはとても贅沢な事で、学びたい事をたくさん学び、好きなものや興味のあるものを究めて充実した大学生活を送って欲しいと思います。アルバイト等はほどほどに。学業優先です。楽しんでください。

努力してください

皆さんは自分の夢を早くに見つけてください…

別府大学、大学生活を通して、人間として一回り成長することができました。

大学生活は本当に短く感じるので、やりたいことを実現できるように楽しんで生活して欲しいです。

大学生活を楽しんでください。

特にありません

3年生までに単位はほとんど取っておくことをオススメします。四年生からは卒業論文と就職活動ががつり入ってくるので、余裕を持って行動する方が絶対いいです(私はかつかつで後悔しました)。就職活動は早めに着手した方がいいと思います。後半になると私のように焦りと不安が襲ってきます。これは個人的な意見ですが、運転免許を取得してない人は3年生までに免許を取得しての方が後々スムーズかもしれないです。

授業もちろん、授業以外や様々な方面から得ることが多いと思います。得たことを自分の中に取り入れて、頑張ってください。

一瞬で大学生活は終わるから、悔いのないように遊んで、勉強して、いろんな経験をしてほしい

就職活動が始まる前にハローワークに行き行って欲しい

在学中に、色々な違う授業を受けます！単位を落とすように心配しない。学習は自分の全体的に成長すること、いつも功利心を持たずしっかり勉強します。あとは在学中になるべき色々な領域に関する本を読むこと。

卒業論文・卒業研究は、参考文献や先行研究が大学の図書館および Cinii の機関リポジトリに豊富にある分野をテーマにすることをおすすめします。

自分のやりたいこと、学びたいことを無理せず、頑張してほしい

頑張ってください。

大学に来てなにか楽しいことが出来るのではなく、大学は自分で前のめりになって勉強し、サークルや研究、アルバイト、生活をしていかなければ楽しいことは掴めないし自動的に来たりはしない。積極的に大学を楽しみにいくというのが大切なかもしれない。

高校から大学へ進学した際に、クラスという枠組みにとらわれないために、少しばかりの疎外感を覚える方もいるかもしれません。しかし、友人や教務課の方々との関係を築いていけば何も怖いことはありません。頑張ってください。

特になし

自由に後悔のないように頑張ってください。

文武両道

・就活は、スタートダッシュを頑張りましょう。バイトは早めに辞めたほうがいいです。出遅れると後悔します。